



箱根ジオパークの拠点施設の方や学芸員にいちおしのジオサイト等を紹介してもらおうよ!

私のイチオシ

箱根関所 所長の大和田と申します。今回は、私が勤める箱根関所とジオの関連について紹介してみます。

箱根関所が現在の場所に設置されたと伝わる江戸時代初期の元和5年(1619)から数えて、今年がちょうど400年。箱根関所の全貌を見渡す「遠見番所」に登り、設置当時の状況に想いを馳せる時、まさに関所がジオの産物であることを実感できます。関所が置かれたこの場所は、前面に芦ノ湖が、背後には屏風山からの急峻な崖が迫る狭い土地です。東海道を往来する旅人が関所を避け、周辺を抜けるには、あまりに困難な所に設置されていたことがわかります。江戸幕府は、箱根関所の設置にあたり、詳細な現地調査の結果からこの好適地を見出したのでしよう。

ところで、この立地はどのようにできたものなのでしょう? それは、断層のなせるワザ! ここには、「丹那断層」の北限にあたる「箱根町断層」が走っており、この断層は平面的に左側にずれていく「左横ずれ断層」という特徴を持っています。

「横ずれ断層の活動によって崖ができるなどは納得がいかない。」という声も聞こえて来そうですね。その疑問を解くカギは、関所を挟んで芦ノ湖の対岸方向に「箱根町断層」と平行して走るもう一本の左横ずれ断層「平山断層」の存在です。

2本の断層が同時に反対方向にずれる時、その間に挟まれた大地は引っ張られ、沈んでいきます。その沈んで低くなった大地に芦ノ湖と関所は位置しているのです。

こうして、遙か昔、大地の活動によりできたこの立地を幕府は巧みに利用して、天下に名だたる「箱根関所」を設置、江戸時代250年間に亘り、江戸防衛や治安維持の要として、その役割を果たしていたのです。

設置から今年で400年を迎えた箱根関所にぜひ足をお運びください。

照会先 箱根関所 ☎83-6635

ホームページ <http://www.hakonesekisyo.jp/index.html>



復元された箱根関所

シンポジウム 「箱根ジオパーク×日本遺産」箱根八里を開催します!
平成30年5月に箱根町、小田原市、静岡県三島市、函南町の東海道箱根路が「箱根八里」として文化庁より日本遺産に認定されました。「日本遺産」の概要、大地の成り立ちから考えられる街道の発展の経緯等箱根ジオパークとの関連について一緒に考えましょう。
日時 9月15日(日)13時~(12時30分開場)
場所 県立生命の星・地球博物館(小田原市入生田499)
講演
◆「箱根ジオパークから生まれた日本遺産「箱根八里」」 町立郷土資料館 鈴木康弘 館長
◆「日本遺産「箱根八里」を歩く」 三島市教育委員会 郷土文化財室 辻真人 主幹
定員 300人(先着順・当日受付)
また、講演終了後に小田原



☐ hakojiro@town.hakone.kanagawa.jp

の伝統工芸「小田原ちょうちんづくり」を行います。
童謡「お猿のかごや」の歌詞にも登場し、約300年前に小田原の提灯職人が考案したと言われる小田原ちょうちんづくりを楽しく作りませんか?
ワークショップ
「小田原ちょうちんづくり」
時間 (講演終了後) 14時45分~16時30分
対象 中学生までの子どもと保護者 先着30名
申込方法 事前予約制。住所、氏名、年齢、電話番号、参加人数を明記のうえに電話、メールでお申込みください。
照会先 箱根ジオパーク推進協議会事務局(企画課内) ☎8519560



町指定ごみ袋の価格変更について



10月1日(火)から、消費税が現在の8%から10%に変更されることに伴い、町指定ごみ袋の値段が10月1日(火)以降、次のとおり変わります。

種類	変更前	変更後
15リットル用	72円	73円
30リットル用	87円	89円
45リットル用(平)	108円	110円
45リットル用(手付)	108円	110円
70リットル用	154円	157円
少量排出事業者用	108円	110円

なお、事業者用ごみ袋(黄色)の価格変更はありません。適正な分別を心がけ、ごみの減量化・資源化にご協力ください。

照会先 環境課 ☎85-9565

南足柄市と箱根町を連絡する道路の愛称を募集します

令和2年春に開通を予定している南足柄市と箱根町を連絡する道路(県道731号 矢倉沢仙石原)を地域内外の方にいち早く知っていただき、親しみをもって利用いただけるよう愛称を募集します。選考の上、入賞作品の応募者には賞品を贈呈します。
応募方法 10月10日(木)までに、郵送、FAX、応募箱への投函、ホームページ(電子申請)のいずれかにより応募してください。詳細はホームページを確認してください。

http://www.pref.kanagawa.jp/docs/m2g/doro_aisyo.html
照会先 神奈川県西地域県政総合センター 愛称選考担当(企画調整課) ☎046513218903
FAX 046513218111

郷土資料館 秋の企画展 開通100周年記念 箱根登山鉄道の歩み

箱根の急峻な山岳地形を縫うように走る、世界でも有数の山岳鉄道である箱根登山電車が、1919年(大正8年)に箱根湯本~強羅間に開通して本年がちょうど100年になります。

この間、箱根を訪れる観光

客の重要な足として走り続けた登山電車は、箱根を代表する交通機関として、また季節ごとに箱根の風景をなす風物詩として、多くの方に親しまれてきました。
この企画展では、開通までの経緯から、今日まで100年にわたる箱根登山鉄道の歴史やその魅力を、その時々、さまざまな資料を通して紹介します。
期間 9月14日(土)~11月24日(日)
照会先 教育委員会生涯学習課 郷土資料館 ☎8517601

総合計画審議会

第6次総合計画の適切な進捗管理のため、総合計画審議会を開催します。
会議は公開で行いますので、是非お越しください。
日時 9月30日(月)13時30分~15時30分
場所 役場分庁舎4階第5会議室
議題(予定) ①第6次総合

計画前期基本計画実施計画の進捗状況について
傍聴方法 傍聴希望者は、13時15分から開催時間までに直接会場へ来てください。なお、傍聴席には限りがありますので、定員を超える場合は抽選等により傍聴者を決定します。
照会先 企画課 ☎8519560

「観光」と「暮らし」に係る財源のあり方を検討する会議を開催します。
会議は公開で行いますので、

是非お越しください。
日時 9月13日(金)14時30分~16時30分
場所 役場本庁舎4階第1~3会議室
議題(予定) ①観光まちづくりの充実・維持に係る財源の確保手法について
②検討会議における検討事項について
傍聴方法 傍聴希望者は、14時15分から開催時間までに直接会場へ来てください。なお、傍聴席には限りがありますので、定員を超える場合は抽選等により傍聴者を決定します。
照会先 企画課 ☎8519560

箱根火山防災シンポジウム 「箱根火山の活動と防災を考える ~現状とこれからの箱根ジオパーク~」開催します!
5月19日に噴火計画レベルが引き上げられたことに伴い、現在も大涌谷園地をはじめ湖尻自然探勝歩道や周辺のハイキングコースは立入禁止が続いています。神奈川県温泉地学研究所の観測結果から考えられる現在の箱根火山の活動状況や特性を学び、学校や地域で備える防災について一緒に考えましょう。
日時 9月7日(土)13時30分~16時30分(13時開場)
場所 県立生命の星・地球博物館講義室(小田原市入生田499)
講演
◆「箱根山の活動状況」 温泉地学研究所 瀧澤倫明火山対策調整官
◆「ジオパーク活動の現場から箱根火山を伝える」 町立箱根ジオミュージアム 笠間友博学術研究担当
◆「身近な火山を学ぶ理科教育と防災教育を学校や地域で推進する」 鷲山龍太郎防災士
定員 100人(先着順・当日受付)
照会先 神奈川県地学会ホームページ「コンタクト・フォーム」 <http://es-kanagawa.com/>